

雁木がつくる にぎわいホール

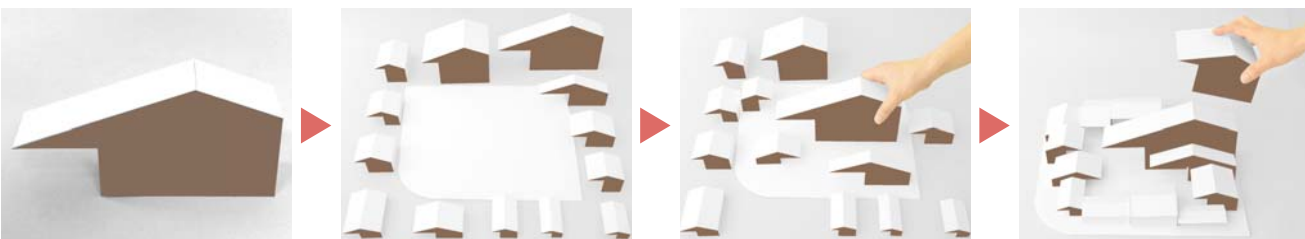
雁木とは、積雪時の歩行動線を確保するために、多雪地方の固有な風土が育んだ、伝統的な空間です。町家の庇を長く張り出すことによって家と家をつなげたこの空間は、通路であるとともに井戸端会議や子供の遊び場など、住民のくらしに密着した交流の場として、古くから親しまれてきました。

このような雁木の、特色ある空間性を見つめなおし、現代的に再構築することによって、人と人を結び、にぎわいに満ち溢れる、新しいホールを提案します。



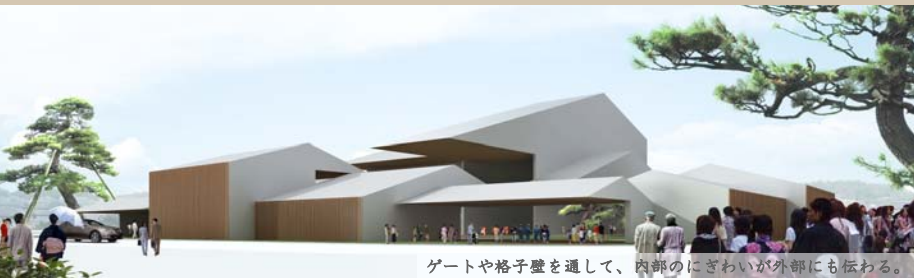
雁木による、にぎわいホールの作り方

- <その1> 想定され得る**アクティビティ**を、市民のみなさまと一緒にリストアップします。
- <その2> 活動内容に沿い、収容人数や設えなど、各用途の**必要諸室・機能を精査**します。
- <その3> 多様で**変化に富んだ空間**が生まれるように、各棟と雁木の大きさを調整します。
- <その4> **街づくりをするか**のように、様々な意見を出し合いつつ、それらを配列します。



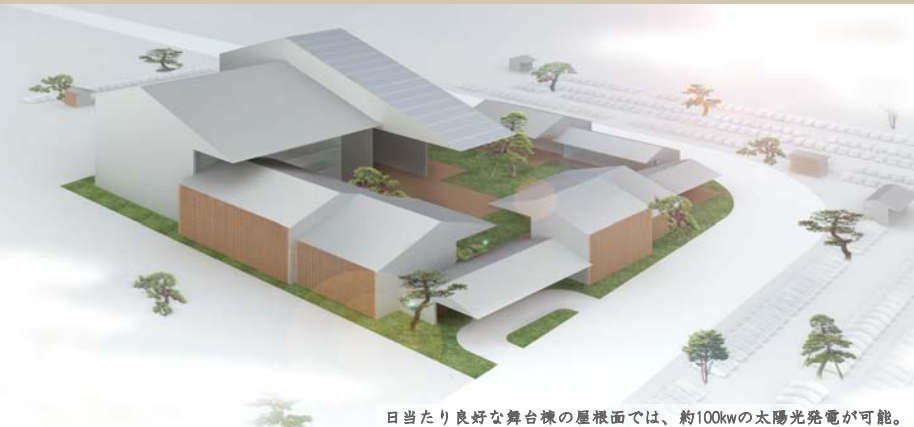
現代的でありながらどことなく懐かしい、個性的な外観

市民や行政のみなさまとの協働によってつくるための、自由度と汎用性の高いシステム



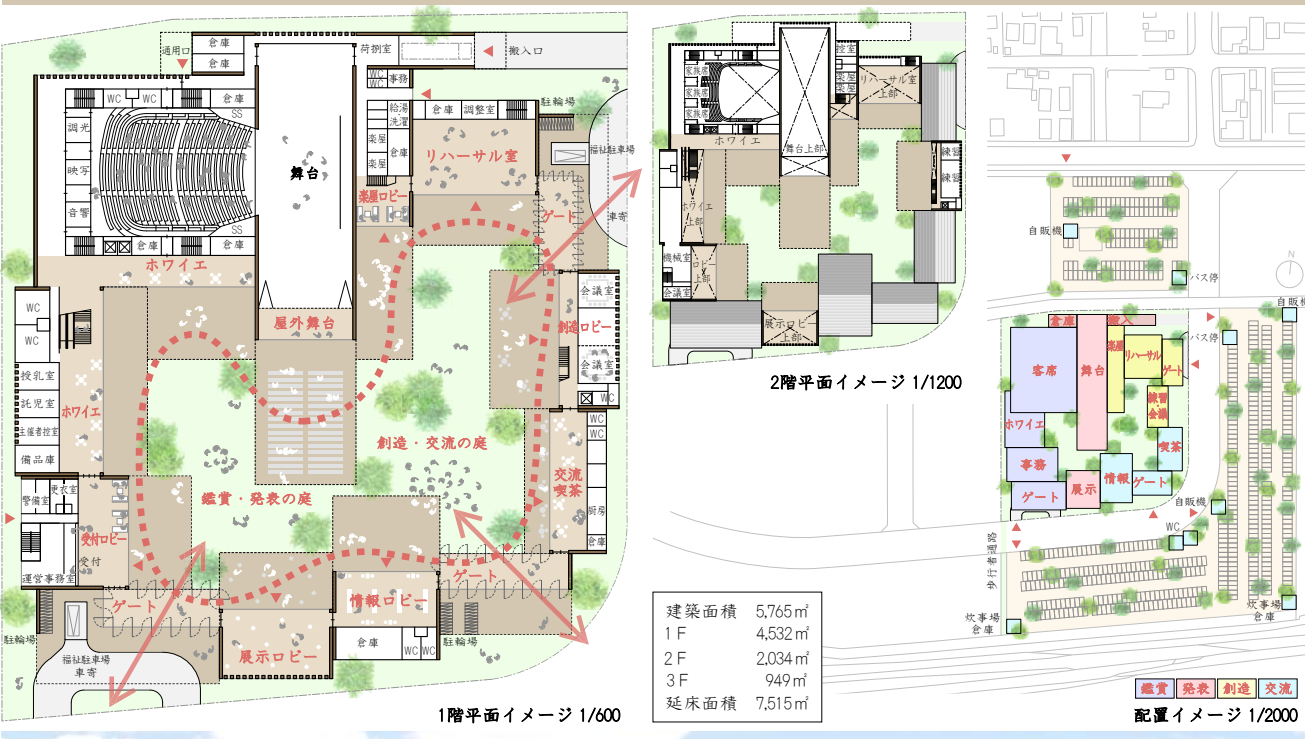
ゲートや格子壁を通して、内部のにぎわいが外部にも伝わる。

緩やかに周囲と調和する、美しい屋根の風景



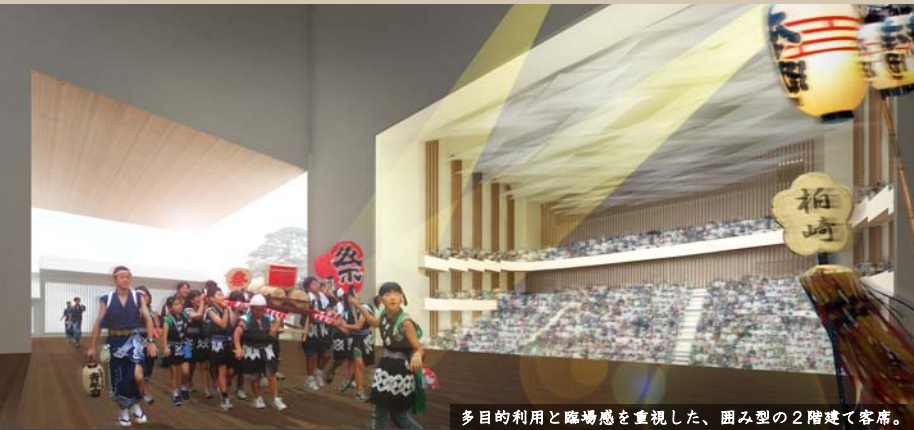
日当たり良好な舞台棟の屋根面では、約100kwの太陽光発電が可能。

様々なイベントができる、公園のような広場

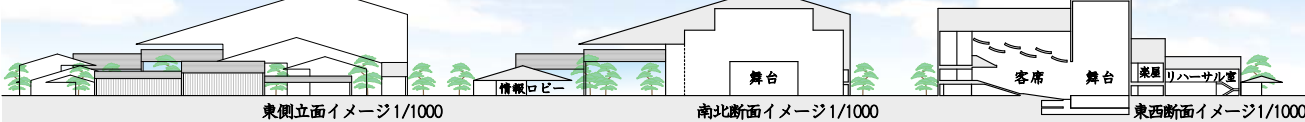


「綾子舞」「たる仁和賀」「えんま市」「花火大会」など。

路地の延長のような、市民に開かれたホール



多目的利用と臨場感を重視した、囲み型の2階建て客席。



課題1：気象への配慮・配置計画	課題2：施設機能	課題3：日常の賑わい	課題4：環境配慮	課題5：コスト削減	課題6：その他
ひとつづきの雁木 北西に閉じる	各棟を円環状に結ぶ 創造 交流	多目的に使える雁木空間 誰でも入れる開放性	ロビーの細分・共有化 屋根による自然との共生	地下室の原則撤廃 合理的なトラス構造	統一感のある屋根景観 柏崎の木「松」の林
⇒雪から人を守る ⇒冬の季節風を遮断	⇒機能の融合・流動化 ⇒利用者が全員が主役	⇒市民の自由活動の場 ⇒公園のような気軽さ	⇒冷暖房の効率化 ⇒音ながらのエコ技術	⇒掘削・処分土の削減 ⇒鉄骨量のスリム化	⇒街並景観の先導・調和 ⇒地域の固有性を演出
開閉自在のゲート 完全フラットな配置	全機能を内側に開く 2方向に開く舞台	様々なスケールの空間	屋根による自然との共生 太陽光パネル	⇒鉄骨量のスリム化 ⇒屋根面の全面勾配化	⇒街並景観の先導・調和 ⇒地域の固有性を演出
⇒季節毎に動線を選択 ⇒安全な動線確保	⇒パリアフリーの徹底 ⇒駐車場の利便性UP	⇒ホール機能の充実	⇒冷暖房の効率化 ⇒音ながらのエコ技術	⇒掘削・処分土の削減 ⇒鉄骨量のスリム化	⇒街並景観の先導・調和 ⇒地域の固有性を演出
⇒安全な動線確保 ⇒駐車場の利便性UP	⇒ホール機能の充実 ⇒ホール機能の充実	⇒多様な「集い」を誘発 ⇒多様な「集い」を誘発	⇒冷暖房の効率化 ⇒音ながらのエコ技術	⇒掘削・処分土の削減 ⇒鉄骨量のスリム化	⇒街並景観の先導・調和 ⇒地域の固有性を演出
⇒災害避難の機能性UP ⇒騒音・振動防止	⇒ホール機能の充実 ⇒ホール機能の充実	⇒多様な「集い」を誘発 ⇒多様な「集い」を誘発	⇒冷暖房の効率化 ⇒音ながらのエコ技術	⇒掘削・処分土の削減 ⇒鉄骨量のスリム化	⇒街並景観の先導・調和 ⇒地域の固有性を演出